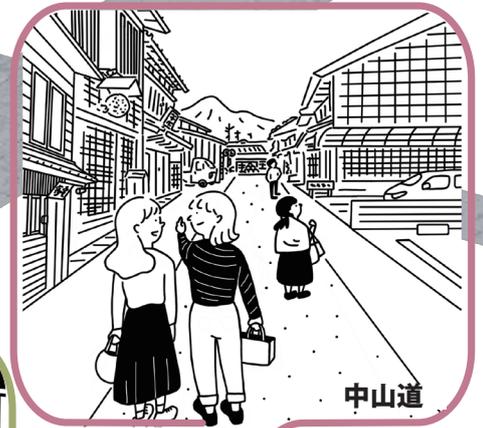


中心市街地活性化”新”ビジョン

つかう

中津川 MAKE THE MOST USE OF NAKATSUGAWA

みんなが「つかう」ことで
「ここにしかないまち」になる



ビジョンの詳細はこちらから

こどもが
つかう

こどものワクワクのために「つかう」

まちなかを、親子で過ごすしやすくワクワクできる場所にしていきます。ひと・まちテラスをはじめ、公園や広場、河川、時にはまちなか全体を使って、親子に遊びと体験の機会をつくります。

学生が
つかう

学生の学びのために「つかう」

まちなかを、学生の学びをつくる居場所にします。まちをつかって学びを作り、学生とまちが共に成長する場所にするすることで、常に新しい視点を持ち続け、変化していくことができます。

事業に
つかう

新しく事業を始めるために「つかう」

まちなかは、挑戦者を応援し育てます。使いやすいまちなかを作り、リノベーションやスタートアップ等のサポートを行うことで、皆さんのビジネスやライフスタイルにインパクトを与えます。

中山道を
つかう

中山道を新たな価値創造のために「つかう」

先人たちが使ってきたまちなかを、時代に合わせて使うことで磨きあげます。中山道沿いにある歴史・文化・街並みを使って、ここにしかないモノを受け継ぎ、次に繋げていきます。

お散歩に
つかう

楽しくまちを歩くために「つかう」

まちなかを、歩きやすく住みやすくします。居住や観光において、歩きやすいまちにすることでたくさんの人を集めます。人が集まることでそこに新たな楽しみがまた生まれます。

おもてなしに
つかう

まちの「玄関・ロビー」としておもてなしのために「つかう」

まちなかを、人が行き交う場所にします。駅前がまちにとっての玄関・ロビーのような場所です。まちの雰囲気を変え、行き交う人に優しくおもてなしのできる場所にします。

**みんなであつかって、
それぞれの暮らしをつくっていく。
その積み重ねが、
ここにしかないまちになる。**

このビジョンを作るにあたっては、これまでのまちなかを知るために学び、まちなかに関わる方から考えていることや感じていることを直接聞き取り、統計データの活用や実地調査を行い、現状とニーズを把握したうえで検討しました。その結果まちなかには、魅力となるモノはあるがその多くが使われていませんでした。そしてその理由は「使いづらい・使えるかどうか分からない」というものでした。

そうした現状を変えるために、子ども、学生、事業者、まちなかで暮らす人、まちなかに来る人、それぞれの暮らしやニーズに合わせてまちを使っていくことで、豊かな暮らしの風景を作っていくビジョンを掲げることとしました。

連絡先 ▶

中津川市商工観光部商業振興課 0573-66-1111 (内 4266)
<https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/works/ci/3/21787.html>